

チロシンキナーゼ阻害剤におけるヒト iPS 細胞由来心筋細胞を用いた心毒性メカニズムの解明

1. 研究の対象

2014 年～2019 年の間に当院にて EGFR-TK 阻害剤の投与を受けた非小細胞肺癌患者さん

2. 研究目的・方法

チロシンキナーゼ阻害剤投与を受けた非小細胞肺癌患者様において、心機能障害が見られることが当科の後方視的研究において明らかとなりました。しかしながらその因果関係や作用機序については未解明の事が多いです。そこで、患者様の診療情報と、市販の iPS 細胞からつくられた心臓の細胞を用いて、チロシンキナーゼ阻害剤の影響を調べる研究を行います。

研究期間は研究承認を受けてから 1 年間です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

過去の診療情報から以下の情報を iPS 細胞の研究に用います。

- ・性別 ・年齢 ・肺癌組織型 ・喫煙歴 ・EGFR 遺伝子変異 profile
 - ・チロシンキナーゼ阻害剤を含めた治療歴 ・抗がん剤治療の効果判定のための画像
 - ・抗がん剤治療前後の心電図検査・心臓超音波検査
 - ・CTCAE に基づく心臓関連有害事象の有無
 - ・心臓関連有害事象に対する治療内容 ・チロシンキナーゼ阻害剤投与後の治療経過
 - ・心臓関連有害事象の転帰 ・予後 ・血液検査
- 等

4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

大阪国際がんセンター 腫瘍循環器科

研究責任者 藤田 雅史

富士フイルム株式会社 バイオサイエンス & エンジニアリング研究所

研究責任者 渡邊 信一

研究員 亀井 綾子

研究員 三好 隼人

研究員 森村 馨

研究員 望月 修征

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

大阪国際がんセンター 腫瘍循環器科

研究代表者(責任者): 藤田 雅史

住所: 〒541-8567 大阪市中央区大手前 3 丁目 1-69

TEL: 06-6945-1181

富士フイルム株式会社 バイオサイエンス&エンジニアリング研究所

研究責任者: 渡邊 信一

-----以上